

多賀城市災害対策本部からのお知らせ

平成24（2012）年3月28日（水）

多賀城市内の被害状況

・死亡者	188名
（内訳）男性	112名
女性	76名
・行方不明者	1名
・避難者数	0名
	（0世帯）

菊地健次郎市長から

- ◆ 震災から1年が経過しある程度応急対応に目処が立ってきましたが、災害関連業務等については、まだまだ継続している事業がたくさんあります。昨日も余震があり、津波のことが頭をよぎり、嫌な思いをした方もたくさんいると思います。今後もいつ何時災害が来るかわからないので、東日本大震災の教訓を忘れないようにしてください。

協議事項

- ◆ 震災直後から継続している災害対策本部については、平成24年3月31日をもって廃止することとした。
なお、災害対策本部は廃止となりますが、継続すべき災害関連業務及び復旧・復興業務は、引き続き各部課等で継続していくこととなりますので、よろしく願います。

市役所各部から

- ◆ 平成23年12月21日復興計画を策定した。
- ◆ 地域防災計画の見直し業務を開始している。職員振り返りヒアリングを実施した。一時避難場所の協定を進めている。日本海側自治体との災害時相互応援協定も進めている。
- ◆ 平成24年度以降は、米沢市における瓦れきの搬入も再開されることから、瓦れきの総量も減少する。
- ◆ 生活再建支援金（基礎）は、1年延長する。義援金51億5,398万2千円（10,350件）は、支給済みです。
- ◆ 災害査定は、平成23年12月に終了している。
- ◆ 市内小中学校の応急復旧で対応している。文化センターは、平成24年4月1日から開館する。

水道事業管理者から

- ◆水道独自の広報誌を発行している。今後も発行する予定です。

教育長から

- ◆教務主任と同格の防災主任を設けました。

副市長から

- ◆全力で復興に取り組んでほしい。